



年 組 名前

道新ワークシート

卓上四季

児童文学作家エリック・カールさんが幼いころ、父親がよく口にしていた言葉がある。「繭を破って出ておいで」。自分の力で殻を破りなさいということだろう。絵本「はらぺこあおむし」の芋虫が、さなぎではなく繭からチョウになる理由だ▼70以上の言語に翻訳され、約5500万部発行された絵本は、世代を超えて世界の子どもに親しまれる。豊富な色彩と動物や虫のユーモラスな動きに心躍らせた記憶をお持ちの方も多かろう▼原点は米国東部の豊かな自然体験にあった。多様な生物の世界から寛容の大切さを学び、自由奔放な制作スタイルの礎を築いた▼6歳で移住した母親の故郷ドイツではナチスが台頭し、人種排斥が広がっていた。色と例えば、建物をカムフラージュする灰色と茶色と汚い緑色くらいだったと、英タイムズ紙の取材で皮肉を込めて答えていた▼ロングセラーの理由は何か。ちっぽけなあおむしが美しいチョウとなり羽ばたく。子どもには希望が必要だとカールさんという▼色の数だけ人がいる。そこに上下も善悪もない。カラフルな世界に子どもたちが目を輝かせるのは、あるがままの自分でいて良い自由があるからだろう。米紙ニューヨーク・タイムズは、こどもたちの反応を最も大事にしていたと伝えた。「私にもできる!」と言った子がいた。最高の賛辞だよ」。虹の作家が91年の人生で示した多彩さの魅力であった。 2021.6.1

2021年6月1日(火) 朝刊 全道遅版 総合 1P

①豊富な色彩の絵本を残したエリック・カールさんのことを四字で表した言葉を本文中から書き抜きなさい。

②エリック・カールさんが豊かな自然体験から学んだことは何ですか。